

最効率でチカラがつく
インプット・アウトプットの
秘密



どうも、AUN です。

[WINNING THEORY セミナー](#)の中で「インプットとアウトプットは同時にやらなければいけない」という話をしました。

「インプットとアウトプットを同時にやってこそ使える知恵になる」という話をしたと思います。目標達成するためには、その目標を達成するための知識や情報が必要なんだ、と。つまり勉強や情報収集をしなければ、どんなにやる気があっても固い決意ができたとしても何も始まらないし、話にならない、という話でしたね。

そして結果を得るという事を第一義とした時に、

インプットとアウトプットは常にワンセットであるべきだ

という話をしたと思います。

この話はいろんな場所でしていますので、分かってくれてる人は分かってくれてると思います。中には耳タコになっている人もいると思うのですが、正直なところまだよく分かってない人が多いなというのを実感しています。

ということで、今回の話は、あなたの成長に大きく貢献してくれるはずですので、最後までお付き合いください。

妙なインプットを平気でやる人たち…

そこで、ちょっと考えてみて欲しいんですけど、たとえば「料理」ってありますよね。あなたが料理をするかどうかはわからないのですが、僕はけっこう料理をします。なので感覚的にわかるのですが、何かを作りたいと思った時にたとえば料理本やクックパッドを見て、そこから知識を得てから3日後や1週間後に覚えた知識を思い出しながら料理を作る、なんてことはしないですよ。

レシピを見ながら同時に作るじゃないですか。そして次に同じものを作る時はある程度レシピを覚えているはずですよ。だから多くの場合はよほど時間が経っていない限りはレシピを見なくてもまた同じものを作れますよね。

記憶が曖昧だったらまた同じようにレシピを見返しながら作れば良いわけで、

要するにこれがインプットとアウトプットを同時に行うと

いうこと

なんです。

家具の組み立ても同じですよ。組立の説明書を読んで組み立てを完璧に覚えてから組み立てる人って中々いないじゃないですか。説明書を読みながら同時に組み立てていきますよね？そうじゃないと忘れてしまいますし効率が悪いです。

英会話も同じだと思います。英語力を身に付けるために海外留学をする人も少なくないと思うんですけど、これはまさにインプットとアウトプット

を強制的に同時に行わざるをえない環境に身を置くということだと思えます。日本で知識を学んで勉強して、そこからいつか海外に行った時や、あるいは日本にいる外国人と話す機会を設ける時に限定してアウトプットをするということに比べたら、海外に住む方が何倍も何十倍も効率的かつ効果的だと言えるわけです。

料理や家具の組み立てで考えると当たり前に行っていることなのに、これがことビジネスや英会話になってくると途端にインプットやアウトプットを分けてやる人が圧倒的に多いのはなぜでしょうか？

多くの人は“料理本で勉強してから後で実践する”といった明らかにおかしなことを平気でやっているし、それが当たり前の学習法だと思ってやっている人もかなり多いです。これじゃあうまくマニュアルを再現なんかできないし、スキルになるはずがないですよ。

スキルにならないことはないとしても効率が悪すぎます。その間にモチベーションが下がったり、どうしても良くなったりしてしまいます。ひょっとしてあなたも心あたりがあるんじゃないですか？だからそこは切り離してはいけないですね。

僕自身、これまでに身に付けてきたスキルは、そのすべて
と言っていいほど、インプットとアウトプットをワンセッ
トでやってきました。

それが当然の感覚だと思ってやってきたし、そうやってこれまで他の人と比べると割りと短い期間で色々なスキルを身に付けてきました。コミュニケーションやリーダーシップ、あるいはネット広告の出稿、サイト制作やセールスレターの執筆なども全部そうです。

Winning Theory セミナーを見てくれた人はわかるはずですが、「必要性」という言葉がキーワードでした。自分が「これは必要だ」と、そして「身に付けなければいけない」と強く思ったものに関しては当たり前のようにインプットとアウトプットをワンセットでやって来たはずですが。

逆に言うと同時にやらなかったものに関しては全部上手くいかなかったはずですよ。学校の勉強しかり、英会話しかりです。これは僕も例外ではありません。

世の中、知識と経験のバランスが極めて悪い、頭でっかちな人が多いと感じます。彼らは決して間違ったことを言っているわけではありませんし、知識としては十分過ぎるくらいなわけです。ですが、なぜかその人が言う屁理屈に聞こえるし地に足がついてないなど感じてしまう。そういう人はやはり知識と経験のバランスが悪いんですね。

インプットとアウトプットを同時にやるという概念が完全に抜け落ちているというか、そもそもそういった感覚がないのではないかと疑わざるを得ません。

先ほども言ったように、僕はコミュニケーションやリーダーシップ、あるいはビジネスやセルフマネジメント、ひいては生き方や在り方のようなものを情報発信のメインテーマにしています。

それでご飯を食べている僕ですが、そんな僕なんかよりも、たくさん知識を持っている人はたくさんいることでしょう。コミュニケーションに関しては〇〇心理学やNLPあるいは〇〇リーダー論、MBAなど色々な専門知識が世の中にあると思います。

実は、僕はあまりそういったことを分かっていません。一通り勉強はしていますが、たくさん勉強している人に比べたら負けてしまいます。

専門知識勝負だとしたら完全に私の負けなんです。

しかし QOL 勝負なら（僕の場合「HQ」と言うべきですね 笑）、まあ勝ち負けの問題ではないのですが敢えて勝負に持ち込むならば、人生の質を上げることや生きたい自分の人生を生きるといった勝負では彼らよりも私の方が勝つ確率は高いと思います。

本来ならどっちが勝ったとか負けたとかの話ではないので、知識太りをすることに興味があるならそれでも良いと思います。しかし QOL (HQ) を高めてより良い人生を送りたい、理想の現実を手に入れたいという思いがあるならば大事なものは

現場で使えるかどうか

これが何より重要なんです。

今学んでいるその知識を、「現場で使いたいかどうか」なんです。知識だけではなく、結果が欲しい！現実を変えたい！という気持ちがあるのであれば、このインプットとアウトプットはワンセットだという考え方を絶対に忘れないでください。

これは、「強い必要性」さえあれば難しくはないはず。

だって、モチベーションという概念と戦わなくていいから。体がきついこともあるし、頭が疲れることもあるけど、我々にとって一番つらいのは、モチベーションと戦うことなんです。それを考えると、必要性に動かされることは、特別きついことではないと思います。

原始時代の人などは必要なことしかやっていたんじゃないかと思えますし、追い詰められた人は必要なことしかやらなくなるんです。

だから結果が出るんですよ。

「追い詰められてからが強い」「背水の陣」という言葉がありますが、それはインプットとアウトプットを半ば強制的にでもワンセットでやろうという思考パターンに自動的に切り替わるからなんです。

失敗しないと成功できない

それで先ほどした話を僕のメルマガ読者さんにしたんですが、納得してくださった方が多く、「本当にその通りですよ」という意見をたくさん頂きました。

しかし、中には

自分が学んだばかりの知識や入れたばかりの情報がその時点で本当に正しいのかどうか分からない、あるいは今の自分ではうまく使いこなせるかどうか自信がない、だからすぐにアウトプットすることが怖い

という意見もありました。

その気持ちは僕もすごくよく分かります。しかし、僕は常々「小さく行動せよ」と言っているのですが、これは別の言葉で言うと、

失敗しても大した痛手にならない範囲から始めてみよ

ということなんですね。

「大した痛手」というのは実害がないということです。どんな分野でも一歩先の未来が分からない領域というのはあります。そして、僕らはそういった領域から始めなければならないのです。

例えば僕が一人でビジネスをスタートした時に最初にやったのが、ブログ

を使ったアフィリエイトでした。心理学系のブログで半年ほど書いていました。どんな感じで書いていたのか？これまでに自分が勉強してきたこと。そして、今まさにリアルタイムで学んだことを自分自身のフィルターを通して日々ブログに書いていきました。

残念ながらそのブログはもうこの世に存在しないんですが、もし今の僕が当時のブログを見返したとすると内容が幼稚すぎてとても読めた物じゃないと感じると思います。でも、誰からも文句を言われませんでした。多くはありませんが感謝のコメントを頂いたこともあります。実際にそのブログから商品も数点売れました。

そして次に何をやったかと言うとメルマガをやりました。メルマガはブログより人とのコミュニケーションがかなり直接的でブログよりハードルが上がります。しかし、そこでも別に何も起こりませんでした。変な嫌がらせのメールは何通か送られてきたことはありましたが、それは誰がやっても起こる事です。

自分が未熟ゆえの実害というようなものは自分にも相手にもなかったと思います。むしろ未熟なりにお互いにとってプラスだったはずです。

次に Skype を使ったオンラインのコンサルなどをやりました。マンツーマンでもやりましたし、グループコンサルや TEL セミナーのようなものもやっていました。それを踏まえてリアルなコンサルや勉強会も行いました。

そして人を何人か集めてセミナーも開催するようになり、高額スクールもやるようになりました。始めは無料で行っていましたが、だんだんとお金を頂くようになり最終的には何十万円という高額なスクールをやるようにもなりました。これは一人でも行いますし、パートナーと組んでやることもあります。

結局その時の自分のステージやレベルに合わせて小さく行動やチャレンジ

をしてきただけなんですね。

その結果、今の僕があるわけですが、もしこれがいきなりリアルセミナーやコンサルをやっていたとしたらどうなっていたでしょうか？仮に僕がビジネス初心者の頃にセミナーやコンサルの勉強をインプットして同時にアウトプットもしなければいけないとなっていたとしたら、かなり危ない綱渡りだと思います。

自分にとってもそうですが、その時巻き込まれた相手にとっても、です。だから、そうではなく「小さくテストする」ということです。

今の自分にできることをできる範囲で小さくテストして、でも確実にチャレンジする。

僕はそれをやって来たからこそ大した失敗もせずにここまで来れたんですよ。これが、例えば、自分が学んだばかりの知識や情報が正しいかどうか分からない、あるいは今の自分では上手くやれる自信がない、すぐに出すのが怖いと思うレベルでもがいていたとしたら、確実に、今の僕はここに存在していません。そしてそんなことを言っていては一步も前に進みませんから。

何より大事なのは、今よりも一步でも半歩でも前進すること

だとは思いませんか？

じゃないと本当に何も始まりませんよ。

これは未だに言う人が後を絶たないのですが「でも、それはあなただからできたんでしょ？」ということをよく言われます。が、この言葉はとてもナンセンスだと思いませんか？

やりたくないことなら別にやる必要はありません。しかし、「やりたい！」
「チャレンジしたい！」と思っているのに「それはあなただからできたんでしょ？」と言うのはおかしいと思います。

「センス」という言葉は好きではありませんが、あえてセンスという言葉を使うとしたら僕はそこに使いたいです。別に能力が足りないとか、実力が足りないとか、感性がないとか、そういうことがセンスなのではなく、「やりたい！」と思っているのに「あなただからできたんですよ」といつまでも言っている人を見て僕は「センスがないんだな」というふうに思いたいのです。

僕にも失敗はありましたよ。大した失敗ではありませんが、小さな失敗はたくさんあります。得意の凡ミスは日常茶飯事でしたし、マーケティングやコピーライティングなども勉強をしていましたが、やはりやろうとしてもなかなか上手くできませんでした。

ビジネスだけではありません。人間関係もそうです。例えば、女性と上手く話せないなど、頭の中には色々な知識やテクニックは入っているのに、アウトプットしようとしても頭で思っているようにうまくはできなかつた、というような失敗は山ほどあります。

今の僕から見れば最初に書いたブログもメルマガもコンサルもセミナーも全部失敗です。今見ると超恥ずかしいです。しかし、その失敗は次のステージに間違いなく繋がっていたわけです。だからレベルアップするわけです。

「失敗」とはとても面白い概念で、過去の自分から見れば成功に見えるようなことも、今の自分から見たら「これは失敗だな」と思うことはよくあることです。でも、その失敗（成功）がなければ今の成長や成功はありません。

「失敗を糧にきなさい」「失敗は成功の母」など色々な格言がありますが、

失敗を糧にするどころか、「失敗」がないと未来は待っていないということにさえなります。

自分が望む未来というのは過去における「失敗」がないと手に入れることはできない。

のです。

失敗とどう付き合うか。失敗という概念をどれだけ高い抽象度で捉える事ができるか。これが成功するための1つの大きな鍵だと僕は思っています。

100%信じられるものは「〇〇」だけ

そして、ここから慎重に聞いてほしいのですが、ここまでの話を踏まえて、最低限やっておいてほしいことがあります。

常にこれを自分に問いかけるようにしておいてください。

今自分が学んでインプットしている知識は現段階で自分自身がベストだと思えるものか？

そして本質を見たとき、「方向性として正しい、間違いはない」と思えるものであるか？

先ほど「失敗」について話をしましたが、これは“今学んでいる知識や実践している事の方向性が間違っていなければ”という前提があります。

「そもそも自分がやっている事の方向性や本質がもしズレていたとしたら……」と考えてみてください。

極端な話をすると、例えば人を騙す行為でお金を搾取するような詐欺まがいの行為を「これがビジネスだ」「これがマーケティングなんだ」と信じてやっていたとしても、それは自分にとって明るい未来はやって来ないし、それどころか、いつか制裁を受けることになるでしょう。

しかし、自分自身の方向性、そしてそこに在る本質の“正しさ”さえ間違っていなければ、未来は明るいはずです。

「インターネットビジネス」で上手くいっているYさんという男の事例をみるとわかりやすいかもしれません。

数年前、Yさんは、twitterやfacebookなどのSNSを使って集客をし、他人の商品の代理販売(アフィリエイト)や、自分のサービスの販売を行うことに成功していました。

次に彼がやったのは、自分が上手くいった集客方法を人に教えることでその対価をもらう、ということです。Yさんの手法は効果があり、クライアントは増え、盛況でした。

しかし、インターネットは流れの早い世界です。しばらくすると時代が変化し、当時Yさんが教えていたノウハウはあっという間に使えなくなってしまいました。これは、インターネットの世界ではよくある話です。

さて、我々は、この出来事をどう受け取るべきでしょうか？

僕の意見を言うと、すぐに稼げなくなるような一過性の手法を教えていたからと言って、それは過去の話です。それを踏まえて成長し、次のステージに行った自分の足を引っ張ることはありません。過去に罪悪感を覚える必要もありません。その時教えていたクライアント様や生徒さんに申し訳なく思う必要もないと思います。

これまで自分が使っていて、そして人にお金をもらって教えていた方法が時代の流れと共に、今ではまったく使えない方法になってしまった。これは事実だとしても、自分の中で、例えば、「いつの時代も、人が集まる場所において、如何にして効率的な集客を試みるか」という本質的な考えをずっと大事にしていたなら、方向性としては間違っていないわけです。

一過性の情報は賞味期限が短いですが“本質”には期限があ

りません。

本質や方向性さえ間違っていなければ、自分自身が時代の変化や自分の成長に合わせて進化していけばいいと思いますし、それが自分を信じるということだと思えます。情報を信じることばかりに気を取られてしまって、情報をコントロールする肝心の“自分自身”から目を逸らしてはいけません。

そして、今の話と少し矛盾を感じる事かもしれませんが、大事なことなので最後に言っておきます。

アウトプットで「間違いたくないから」「失敗したくないから」という気持ちは十分わかります。しかし、その気持ちが大きいが故に 100%正しい情報や知識を入れようとしてしまって慎重になり過ぎてしまっている人が多いように感じます。

覚えておいてほしいのですが、

「いつか100%正しい情報が手に入る」なんて考えは幻想に過ぎません。

自分が心から尊敬している人からの情報、自分が信じている本質を捉えた情報や知識などを見極める目は大事です。しかし情報そのものに 100%を求めてはいけないということです。

情報の正確性や、情報そのものの正義なんていうものは時代や環境、情報の出所、自分自身が見る角度、あるいは受け取る人の価値観などによって変わるものです。

結局どのタイミングでアウトプットしたとしても、客観的に見て 100%の成果物なんて出せませんし、そんな物はないということです。

つまり、情報そのものには 100%の自信や信頼を持つ事はできません。信じるべきではないし、求めるべきでもないんです。それなので 100%信じることが出来る情報を得ようとするのではなく、“100%信じられる自分を作る”と考えてください。

100%の自信を持てるのは情報そのものではなく自分自身のみ

だということです。

情報が多少間違っていたとしても、時代によって移り変わってしまったとしても、自分自身を信じることさえできていれば、信じているからこそ、いくらでもリカバリーができるんです。

情報を扱うのも、操作するのも自分です。そしてあなたの情報をあなたに関わる人はあなたを通して受け取っています。嫌でも関わる人達に影響を与えているからです。ならば発信するあなたが自分自身のことを信じていなくてどうするんですか？という話です。

とにかく、100%正しい情報やそれを 100%上手く使いこなせる自分を求めるのではなく、それを料理できる自分に 100%の信頼を持てているかどうかという点を見るべきだと思います。

「100%」と言うと難しいと感じるかもしれませんが、それくらいの気持ちを持ってください。これはマインドセットの話なので、要するにそれくらいの気持ちを持って情報と付き合っていけばいいということです。

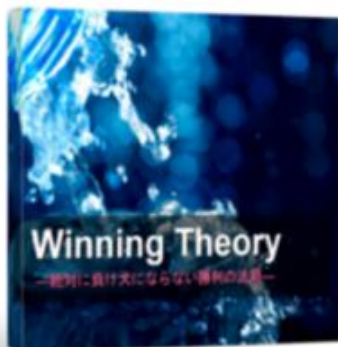
結局は自分次第なんです。自分のアウトプットが多少間違っていたとしても、時代とともに廃れていったとしても、自分のことさえ信じていれば、信じているからこそいくらでもリカバリーできるわけじゃないですか。

自分を信じているからこそ受け取る側の印象も変わるのです。廃れていることは素直に認め、「方向性はこのままでいい」と言えば受け取る側も安心します。何なら「当時の自分はまだまだ未熟でした」と言ってもいいわけです。誰も文句は言いません。逆にそれが自信の現れになってその人の心に深く刻まれるわけです。

なので、あまり気負わずに楽しんでインプットとアウトプットをワンセットでやっていってください。それがあなたの目標を達成するための最短・最速のルートですから。

Arigato!★Aun

★このレポートを読まれたあなたへのお勧めコンテンツ



Winning Theory – 絶対に負け犬にならない勝利の法則 –

より多くの収入、より多くの時間、不安のない自由、仕事での成功、誰もが羨む理想の彼女、理想の家庭、理想の仲間、理想の肉体etc…欲しい現実を実際に手に入れられる者は全体のわずか5%以下です。あなたの目標が達成されない最大にして唯一の根本原因を全部語ったセミナーのマル秘映像がフリーコンテンツとして登場。

ストリーミング視聴版／1時間40分

▶ [詳細ページへ](#)



FORTUNE—運命の支配者になる方法—

自分に都合よく運命をコントロールし、望み通りの理想や成功を獲得することを可能とする4つの奇跡の資質……

1. 他人の能力を最短・催促でパクる資質
2. 思考。妄想を忠実に現実化する資質
3. 結果が出るまで行動を継続する資質
4. 真実の成功習慣を見極め実行する資質

これら4つの資質を手に入れ、確実な進化と成功を手に入れてください。

▶ [製品の詳細はこちら](#)